

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」
住民支え合い活動報告書

助成団体	団体名	ふりがな えぬびーおーほうじんくまもとひさいしゃしえんたい NPO 法人くまもと被災者支援隊		
	所在地	〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町〇-〇 被災者支援ネットワーク事務所内		
		TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 / FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇		
		メール kumamoto123@kuma123.or.jp		
		ホームページ http://www.kumamoto123.jp		
代表者名	ふりがな あかいはね たろう			
	赤い羽根 太郎 印			
	申込責任者名 (連絡先)	ふりがな あかいはね じろう	〒860-0001 熊本市中央区千葉城町〇-〇	
		赤い羽根 次郎	TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 携帯電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
実施結果	事業名	ひとり暮らしの高齢者等支援サロン事業	助成金額	100,000 円
	実施時期	令和 7年 5月 10日 ~ 令和 8年 1月 10日		
	実施内容 ※写真はHP等で公表してもよいものを別途 1 枚以上添付してください。	☐ 生活支援活動 ☒ サロン事業 ☐ 季節の行事 ☐ 住民交流事業 ☐ その他 ※添付の活動事例をご覧ください。		
		実施した内容・背景 被災後数年経つが、まだ家に閉じこもりがちな高齢者等が多数おられ、住民同士の交流があまりないため、レクリエーションでのゲーム大会や、茶話会を開催するなどして、住民同士が交流の機会を設けた。		
		実施日時	5月10日(土)、9月13日(土)、1月10日(土) 13時~16時	
		実施場所	〇〇公民館	
実施効果		当NPO 団体スタッフによるレクリエーションでボウリングをしたり、茶話会では会話が弾むなど、時間を忘れるほど楽しく交流されていた。		
今後の課題	初めのうちは参加者が少なかったが、徐々に参加者が増えていった。今後も声掛けを続けて、レクリエーションや相談会など、交流の場を作っていきたい。			
参加者の声	〇被災後住所が変わり、知り合いが少なくあまり外に出ていなかったが、今回のレクリエーションを通じて、近所の方と会話する機会が出来たのは良かったです。 〇久しぶりに一日笑って過ごせました。参加者の方ともたくさん会話ができて嬉しかったです。			
寄付者へのメッセージ	みなさまの募金により、ひとり暮らしの高齢者の方々とのレクリエーションを開催し、楽しんでいただくことが出来ました。 今後も、多くの方が参加できる事業を計画し、住民同士の交流が深まるような環境作りに努めたいと思います。今後もご支援よろしく願いいたします。ありがとうございました。			

参加人数(各月20)名

(様式4)

事業実施精算報告書

助成金決定額 100,000 円

支出内訳

項目	金額(円)	詳細 (内容・単価×個数など)
備品購入費	25,800	プラスチックボウリング、輪投げ、トランプ
消耗品費	15,800	コピー用紙、模造紙、マジックペンセット
印刷費	10,000	コピー機使用料
交通費	5,000	運営スタッフ：@1,000×5名
会場料	9,000	会場料(電気代含む)×3回
弁当・茶菓代	26,000	弁当×1回、お菓子他×3回
合計	91,600	

○今回申請された事業を実施するにあたり、本助成金以外にも活用した財源がありましたらご記入ください。(財源の種類 例) 助成金、補助金、寄付金、自己財源等

財源の種類	金額	財源の種類	金額
自己財源	0円		

- 1.以上の支出項目に対象外経費は含まれていますか。

☐はい☒いいえ
- 2.助成金が残った場合、残額は返金していただくことになっています。

助成金が残っていますか。

☒はい☐いいえ

「はい」と答えた団体は、その金額をご記入ください。

8,400 円
- 注 ①各項目の支出について領収書(レシートでも可)の写しを添付してください。
②精算報告は事業終了後1か月以内にさせていただきます。